

会 議 録		令和3年9月27日作成	令和7年3月末日廃棄
会議名	京都府福知山警察署協議会（令和3年度第2回）		
開催日	令和3年9月21日（火曜日）		
時 間	午前10時から午前11時までの間（60分）		
場 所	京都府福知山警察署		
出席者	<p>衣川会長、田中副会長、森下副会長、廉屋委員、足立（久）委員、小谷委員、足立（幸）委員、笹田委員、北村委員、中司委員 計10人</p> <p>-----</p> <p>署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴係長、警務課主任、生活安全課主任 計12人</p>		
諮 問 事 項	女性職員の活躍の推進について		
会 議 内 容	<p>1 開会 司会 副署長</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 会長挨拶</p> <p>4 協議 司会 会長</p> <p>諮問事項説明</p> <p>【委員】元宝塚歌劇団の叶羽時^{かのほとき}さんが一日警察署長を務めた署内行事に参加させていただくなど、大変貴重な体験をさせていただいた。この貴重な体験の機会をいただいた小野署長に感謝を申し上げたい。一日警察署長というのは新聞・テレビの報道で知る程度であったが、署員の皆様の通常点検を実際に目の当たりにして本当に心強く感じた。</p> <p>本日の第2回福知山警察署協議会の議題は、第1回警察署協議会で、女性職員・女性警察官の活動にクローズアップしてはどうかとの意見があり、警察署から女性職員の活動についての説明とともに、叶羽時さんによる、一日警察署長の活動が行われたことから、今回のテーマを「女性職員の活躍推進について」と決めさせていただいた。</p> <p>警察という職場は非常に転勤が多く、課長以上の幹部の方々の人事異動は新聞にも掲載され、2年に1回ほどのペースで異動されている。女性の幹部登用にあたって転勤や異動の弊害や、プレッシャーとな</p>		

会 議
内 容

っていることが懸念される。

異動を避けたいから昇任試験を受けない、分かりやすく言えばずっと昇任しなくてもいいということになっていないか。例えば民間企業でいえば地域限定社員といった契約があり、社命で異動してくる社員と地元ですっと仕事している社員というように分けて運用している会社もある。女性警察官にとって、異動や転勤が不利になっていないのだろうか。警察ではどのような施策を講じて対処されているか。

【警察】警察におけるキャリアアップ、昇任と転勤は別ものと考えていただきたい。昇任は、昇任試験制度に基づき、年数がきたら公平に受験できる。親を介護している、子どもを警察署の近くに預けている、そういう女性職員が昇任試験に合格した時には転勤等について配慮している。

【委員】 その様な配慮がなされていることを聞いて安心した。

【委員】 管理職の女性が少ないが、最近、積極的に登用が始まったと思うので、徐々に増えてくると思う。「女性警察職員の職域の拡大に向けた教養基準」という説明の中の『職域』というのはどういったものか。

【警察】 現状において女性警察官は、交通安全教育や生活安全部門における少年対策業務、許認可業務、それに警務業務といった限られたポストとなっている。職域を広げるというのは、男性が担っている仕事について、専門業務に関する教養を積み上げ、仕事の態様を広げていき、そうして女性の仕事の幅を広げていこうという施策となる。

【委員】 刑事課では女性警察官が勤務されているが、男性にしかできないような仕事というのがあるのか。

【警察】 警備部において機動隊というのは、これまでほとんどが男性のみで編成されてきた。しかし、災害等において力仕事だけではなく、被災された方々の対応に当たる等の任務を担うために、女性のみで構成される部隊が新たにできた。そういったことを理解していただくと、職域の拡大についても分かっていたいただけると思う。

【警察】 京都府警察では、全ての業務において女性が活躍できるように進めているが、先ほど説明したとおり限られた部門となっていることから、様々なポストにつけるよう教養を行っている。

【委員】 警察官は、土日に関係なく勤務し、夜間の当直もあると思うが、女性の勤務状況はどういったものになっているのか。女性に限らず、当直勤務の状況についてはいかがか。

【警察】 交番勤務の者は、当番非番公休といったサイクルの3交替制勤務となっている。日勤で勤務している者の中には、6日に1回のサイクルで当直勤務を行っている。土曜日や日曜日に当直をすれば、振替休日

会 議
内 容

という措置が図られるようになってきている。以前そういった振替休日の取得ということは制度としてあるが浸透していなかったが、今は府警全体で積極的に取得を促し、休暇制度が充実している。

福知山署では産後復帰といった女性は当直に就いていないなど、出産休暇などで当直に就けないからといって女性の活躍の場が奪われるということはない。

【委員】昔は警察官といえば男性ばかりだったが、今のように女性職員が増えた中で、女性のための施設の改善とはどういったことがあるのか。

【警察】以前は女性専用のシャワールームはなかったが、今は全警察署に女性専用のシャワールームが設置されている。福知山警察署では女性専用のシャワールームのほかに女性用洗面所がある。また署庭から1階にあるトイレ内がガラス越しに見えるような状況であったため、遮蔽版を設置して改善を図っている。

【委員】女性警察官の活躍ということについて、叶羽時さんの講演の中で、「弱みを強みに変える」という話があった。私も保育園を運営していることから、育児休業というのは女性にとっては、職場復帰までの1年2年のブランクがあることに関して、とても不安を感じるものと考えている。女性職員の方には、これまで積んできた経験に自分自身の子育ての経験をプラスアルファに変えて活躍してほしいと思う。

また、福知山警察署の中では、女性同士のミーティングを開催されるなど、女性職員が活躍できるよう意見を吸い上げる場があるのはとてもいいことだと思う。さらに、全職員を対象としてアンケートも実施されており、男性と女性がそれぞれ意見を積み上げて、お互いに理解し合えることとなる。男性職員が多い地方公務員としてこういった取組は素晴らしいことだと思う。

【委員】京都府警全体として、令和2年度の警察官の採用割合で女性が24.3パーセントとなっており、この数字は女性活躍の裾野が広がっているよい傾向と言えるのか。

【警察】具体的な数値は分からないが、採用割合としてはそういう傾向となっている。

【委員】採用勧奨活動の中で、特に女性へのアプローチについては、どのようなことに工夫されているのか。

【警察】採用試験の受験者と同年代となる本年度採用された若い女性職員が採用勧奨活動を行うなど、警察の魅力についての発信を積極的に行っている。

【委員】小中学生を対象とした職業体験講話であれば、若い職員がお話をすることはとても有用だと思う。しかし、大学生やその辺りの年代の子

会 議
内 容

たちからすると、自分のライフワークを決めていくにあたって、実際に子育てをされている女性警察官の日常やタイムスケジュールを話していただくことにより、将来を設計しやすくなると思う。

【委員】女性職員の中で、幹部登用を希望されている職員は以前に比べて増えているのか。

【警察】以前は階級が上がることについて、子育てと異動を考慮したり、幹部となればポストが限られてくることもあり、幹部登用を望む職員は限られていた。しかし、今は考え方が変わってきている。当府警では、過去に署長を経験している女性警察官は2人だけだが、将来、女性職員の管理職をさらに増やすなど、女性職員の幹部登用に対する考え方は組織に浸透してきている。

【委員】育児休業などの説明があったが、昔は休みますと言うと仕事が重なっていたら休めないことがあり、あえて言わないようにするということがあった。そういったことも踏まえて、今後も考慮してほしいと思う。

以前、警察官の方と接することがあったが、色々な装備品を体に取り付けられているのを見て、すごく重そうで、女性警察官に向けた軽量化などの改良をお願いしたいと思う。

【警察】子どもが生まれる職員に対して、上司が子育てシートというものを使って面談するなど、育児休業等を積極的に活用するよう組織全体で進めている。若手職員の中では、育児休業等に関する抵抗はなくなってきた。また育児休業を取得する職員がいると欠員が生じることになるが、治安維持に支障がないよう組織として意識改革も行われている。

【委員】他府県と比較して、京都府警の女性職員の採用数はどうなっているのか。また、京都府内において、都市部と郡部における女性職員の比率の差はどうなっているのか。

【警察】次回の会議において正式に回答させていただくが、印象としては、全国的にみて京都府警の女性職員の採用は進んでいると思う。

【委員】私自身が女性であり、こういった考えもあるということを知っていただきたい。女性としての対応をしてほしいということと、それとは反対に女性として対応されると差別されているという認識がある。

説明を受けた制度については、とてもいいものだと思う。現場で働く女性警察官はどういった思いがあるのか、ちょうど女性警察官の方がこの会議に参加されているので、率直な意見を聞かせてほしい。また男性は、女性にどうしてほしいのかといった意見を募ることも重要ではないかと思う。

会議 内容	<p>【警察】女性職員として認識されるのではなく、男性と対等に仕事をしたいと思う。ただ、時代も変化しており、女性だからといって疎外されることはなく、当署では全署員を対象としたアンケートなどで意見を取り入れるなど、女性が積極的に意見を発信する機会を設けられており、安心感も感じている。将来、自分自身が幹部になれば、そのような職場を築いていきたいと考えている。</p> <p>5 事務連絡 令和3年度第3回福知山警察署協議会は令和3年12月中に実施予定である。</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------	---

第2回京都府福知山警察署協議会の開催状況

